

留守番電話サービス	318
キャッチホン	319
転送でんわサービス	319
迷惑電話ストップサービス	320
番号通知お願いサービス	320
デュアルネットワークサービス	320
ガイダンスを日本語と英語で切り替える	英語ガイダンス 320
サービスダイヤル	321
通話中着信設定	321
通話中に着信したときの対応方法を選択する	通話中の着信動作選択 321
遠隔操作を設定する	遠隔操作設定 321
マルチナンバー	322
2in1	322
OFFICEED	325
新しいネットワークサービスを登録する	追加サービス (USSD 登録) 325

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）→P61	不要	無料
公共モード（電源OFF）→P61	不要	無料
メロディコール→P79	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ (<http://www.docomo.biz/d/212/>) をご確認ください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定時、留守番電話サービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に「 2」(数字は件数)が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送出に切り替えて操作してください。→ P55
- 2in1利用時は、留守番電話サービスの開始、停止、設定確認、メッセージ再生、留守番サービス設定はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外は共通です。

◆留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する

ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する

ステップ3：伝言メッセージを再生する

1  **【設定/NWサービス】**   ▶ メニュー項目を選択して操作

〈留守番サービス〉

【留守番サービス開始】：   ▶ 「はい」 ▶ 「はい」 ▶ 呼出時間を入力

- 呼出時間を「0秒」にすると着信履歴には記録されません。
- Bナンバーでは開始のみ設定できます。

【留守番呼出時間設定】：   ▶ 「はい」 ▶ 呼出時間を入力

- 「0秒」にすると着信履歴には記録されません。

【留守番サービス停止】：   ▶ 「はい」

【留守番設定確認】：   ▶ 「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。
- Bナンバーでは開始/停止の確認ができます。

【留守番メッセージ再生】：   ▶ 「はい」 ▶ 音声ガイダンスに従って操作

-   には新しい伝言メッセージの再生時にガイダンスで案内する件数が表示されます。保存件数は含まれません。

【留守番サービス設定】：   ▶ 「はい」 ▶ 音声ガイダンスに従って操作

【メッセージ問合せ】：   ▶ 「はい」

〈件数増加鳴動設定〉

【件数増加鳴動設定】：  ▶ 各項目を設定 ▶ 

新しい伝言メッセージが増えたときなどに通知音が鳴ります。パイプレータ設定の電話着信時の設定に従って振動します。

- 件数通知音を「ON」にして通知メロディを設定します。

〈着信通知〉

【着信通知開始】：   ▶ 「はい」 ▶ 「はい」または「いいえ」

電源が切れていたり圏外のときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます。

- 着信通知対象確認で「はい」にすると発信者番号通知の着信のみが、「いいえ」にするとすべての着信が通知されます。

【着信通知停止】：   ▶ 「はい」

【着信通知開始設定確認】：   ▶ 「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

〈表示消去〉

【表示消去】：  ▶ 「はい」

待受画面から伝言メッセージのマークが消去されます。

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- 通話中にテレビ電話が着信してもキャッチホンは動作しませんが、不在着信として記録されます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定では、キャッチホンを開始にしても音声電話中に着信した音声電話に応答できません。
- 音声電話中に着信した別の音声電話に出るときは次の操作を行います。
☎：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する
☎：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示される。
☎を押して電話に応答する

- キャッチホン中は、☎を押すたびに通話相手を切り替えられます。
- 音声電話中に別の相手に音声電話をかける場合は、☎を押して「ダイヤル入力」を選択します。

1 ☎【設定／NWサービス】(8)(2)(1)▶メニュー項目を選択して操作

[キャッチホン開始]：(1)▶「はい」

[キャッチホン停止]：(2)▶「はい」

[キャッチホン設定確認]：(3)▶「はい」

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定時、転送でんわサービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に☎2(数字は件数)が表示されます。

- 2in1利用時は、転送サービスの開始、停止、設定確認はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外は共通です。

◆転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ2：転送先の電話番号を登録する

ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 ☎【設定／NWサービス】(8)(2)(2)▶メニュー項目を選択して操作

[転送サービス開始]：(1)▶「はい」▶「はい」▶転送先番号を入力

▶☎▶「はい」▶呼出時間を入力

- 呼出時間を「0秒」にすると着信履歴には記録されません。
- Bナンバーでは開始のみ設定できます。
- ☎で電話帳から、☎で着信履歴から、☎でリダイヤルから電話番号を選択できます。

[転送サービス停止]：(2)▶「はい」

[転送先変更]：(3)▶転送先番号を入力▶☎▶(1)または(2)▶「はい」

- サービス開始中は転送先変更を、サービス停止中は転送先変更と転送サービス開始を設定できます。
- Bナンバーでは転送先変更のみ設定できます。
- 電話番号の選択方法は転送サービス開始と同様です。

[転送先通話中時設定]：(4)▶「はい」

転送先が通話中で転送できないときに留守番電話サービスで応答します。

[転送サービス設定確認]：(5)▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。
- Bナンバーでは開始／停止の確認ができます。

◆転送ガイドンスの有／無を設定する

1 (1)(4)(2)(9)▶☎▶音声ガイドンスに従って操作

- 詳細は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号からの着信時は、着信音は鳴らず着信履歴にも記録されません。

1 【設定／NWサービス】 ▶メニュー項目を選択して操作

【迷惑電話着信拒否登録】：  ▶ 「はい」

最後に着信応答した電話番号が着信拒否に登録されます。

- 通話していない不在着信などは登録対象になりません。

【電話番号指定拒否登録】：  ▶ 「はい」 ▶ 電話番号を入力 ▶  ▶ 「はい」

指定した電話番号が着信拒否に登録されます。

-  で電話帳から、 で着信履歴から、 でリダイヤルから電話番号を選択できます。

【迷惑電話全登録削除】：  ▶ 「はい」

【迷惑電話1登録削除】：  ▶ 「はい」

最後に登録した電話番号が1件削除されます。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除できます。

【拒否登録件数確認】：  ▶ 「はい」

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった場合、着信履歴に記録されず、待受画面に   (数字は件数) は表示されません。

1 【設定／NWサービス】 ▶メニュー項目を選択して操作

【番号通知開始】：  ▶ 「はい」

【番号通知停止】：  ▶ 「はい」

【番号通知設定確認】：  ▶ 「はい」

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 【設定／NWサービス】 ▶メニュー項目を選択して操作

【デュアルネットワーク切替】：  ▶ 「はい」 ▶ ネットワーク暗証番号を入力

FOMA端末で利用できるように切り替えられます。

【デュアルネットワーク状態確認】：  ▶ 「はい」

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 【設定／NWサービス】 ▶メニュー項目を選択して操作

【ガイダンス設定】：  ▶ 「はい」 ▶  または  ▶ 「はい」 ▶  ~ 

- 発信側に流れるガイダンスの言語を選択後、着信側の言語を選択します。

【ガイダンス設定確認】：  ▶ 「はい」

サービスダイヤル

- ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。
- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P41
 - 2in1がデュアルモード時は発信番号選択画面が表示されます。

1 【設定／NWサービス】 8 9 6 ▶メニュー項目を選択して操作

- 【ドコモ故障問合せ】：1 ▶ 「はい」 ▶ 故障お問い合わせに発信
【ドコモ総合案内・受付】：2 ▶ 「はい」 ▶ 総合お問い合わせに発信

通話中着信設定

通話中の着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 【設定／NWサービス】 8 9 8 ▶メニュー項目を選択して操作

- 【通話中着信設定開始】：1 ▶ 「はい」
【通話中着信設定停止】：2 ▶ 「はい」
【通話中着信設定確認】：3 ▶ 「はい」

通話中の着信動作選択

通話中に着信したときの対応方法を選択する

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中の着信に回答できません。
 - 通話中の着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。

1 【設定／NWサービス】 8 9 9 ▶メニュー項目を選択して操作

【通常着信】：1

- キャッチホン開始中はキャッチホンが動作し、停止中は音声電話または64Kデータ通信を終了して着信した音声電話に回答できます。また、音声電話着信中はサブメニューから対応を選択できます。→P58

【留守番電話】：2

- 音声電話／テレビ電話着信時は留守番電話サービスに接続されます。

【転送でんわ】：3

- 音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信着信時は登録済みの転送先に転送されます。ただし、64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。

【着信拒否】：4

- すべての着信は拒否されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

1 【設定／NWサービス】 8 9 2 ▶メニュー項目を選択して操作

【遠隔操作開始】：1 ▶ 「はい」

【遠隔操作停止】：2 ▶ 「はい」

【遠隔操作設定確認】：3 ▶ 「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。この場合は再度登録を行ってください。
- 発信画面やリダイヤル/着信履歴などに基本契約番号または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤル/着信履歴から発信する場合は、以前発信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 **[設定/NWサービス]** **[8]** **[9]** **[7]** ▶ **メニュー項目を選択して操作**

[通常発信番号設定] : **[1]** ▶ **[1]** ~ **[3]** ▶ **「はい」**

[通常発信番号設定確認] : **[2]** ▶ **「はい」**

[電話番号設定] : **[3]** ▶ **各項目を設定** ▶ **[4]**

- 付加番号1または付加番号2の名称と電話番号を入力します。
- 基本契約番号の名称と電話番号はプロフィール情報が表示されます。
- マルチナンバー発信を「有効」にすると、電話発信時のサブメニューからマルチナンバー発信番号を選択できます。

[着信設定] : **[4]** ▶ **[1]** または **[2]** ▶ **各項目を設定** ▶ **[4]**

- 個別設定を「ON」にすると付加番号ごとの着信動作を設定できます。設定操作は、電話着信設定と同様です。

◆ 電話番号を選択して電話をかける

- 電話番号設定のマルチナンバー発信が「無効」のときはマルチナンバーを選択できません。

1 **電話番号を入力** ▶ **[NUM]** **[4]** ▶ **[1]** ~ **[3]** ▶ **[NUM]** または **[OK]**

- 発信オプションから操作する場合、番号通知を「指定なし」にすると通常発信番号設定に従います。

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使える、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けられるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1がONのときにFOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィール情報からBナンバーを取得してください。→P297
- また、FOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィール情報に更新するために2in1をOFFにしてください。

■ 2in1のモード

- 2in1のモードごとの動作→P324

Aモード：お客様電話番号（Aナンバー）での発信とiモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

Bモード：2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。

デュアルモード：A/Bの両方の機能を備えたモードです。

✓お知らせ

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。→P123
- iモード契約中は、Bモードでもiモードサービスを利用できます。
- Bモード時はMail To、SMS To機能を利用できません。
- 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
 - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳、メール送受信履歴の全件削除
 - 受信メールの「1件削除」または「複数削除」以外の削除操作
 - メールフォルダや電話帳のグループの削除
 - データー一括削除
- デュアルモード時に外部機器接続で発信する場合は、Aナンバー発信になります。
- テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。

◆ 2in1 設定をする

2in1 を ON にして各設定を行います。

1 [設定/NWサービス] (8) (7) ▶ 認証操作 ▶ 「はい」 ▶ メニュー項目を選択して操作

- 既に 2in1 が ON の場合は、認証操作を行うと 2in1 設定画面が表示されます。

〈2in1 モード切替〉

[2in1 モード切替] : (1) ▶ (1) ~ (3)

〈電話帳 2in1 設定〉

[電話帳 2in1 設定] : (2) ▶ モードを選択 ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択 ▶ (4) ▶ 「はい」

モードごとに電話帳の表示が切り替わります。

- 「共通」にすると、A/B 両方のモードで表示されます。

[A] : A モードの電話帳 [B] : B モードの電話帳

[AB] : A/B 両モードの電話帳

〈モード別待受画面設定〉

[デュアルモード待受画面] : (3) (1) ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択 ▶ 「はい」

[B モード待受画面] : (3) (2) ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択 ▶ 「はい」

〈着信番号設定〉

[B ナンバー着信設定] : (4) (1) ▶ (1) ~ (3)

- 設定操作は、音設定と同様です。
- 発信者番号の通知/非通知に関わらず本設定に従って着信音が鳴ります。

[発着信識別表示] : (4) (2) ▶ 各項目を設定 ▶ (4)

識別表示を「ON」にして設定した識別記号で、発着信中/通話中画面の「発信中」などの文字列が装飾されます。

- A ナンバーの設定は発着信識別表示にも反映されます。

〈2in1 機能 OFF〉

[2in1 機能 OFF] : (5) ▶ 「はい」

〈着信回避設定〉

[着信回避設定変更] : (6) (1) ▶ 各項目を設定 ▶ (4)

ナンバーごとの着信回避を設定すると、モードに関わらずそのナンバーの着信が規制されます。

- モード切替連動設定を停止にする必要があります。

[着信回避設定確認] : (6) (2) ▶ 「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

[モード切替連動設定] : (6) (3) ▶ 「はい」

開始にすると、A モードでは A ナンバーのみ、B モードでは B ナンバーのみが着信します。

- 開始にしている場合、圏外では 2in1 モード切替はできません。

[着信回避設定 (海外)] : (6) (4) ▶ 「はい」

- モード切替連動設定を停止にする必要があります。
- 海外から操作した場合は、ご利用の国の国際通話料がかかります。

✓お知らせ

〈2in1 モード切替〉

- 2in1 が OFF でも、待受画面で (6) を 1 秒以上押し認証操作を行うと、2in1 を ON にして 2in1 モード切替が起動します。2in1 が ON のときも同様の操作で 2in1 モード切替が起動します。

〈電話帳 2in1 設定〉

- 初めて 2in1 を契約したときは、その時点で登録済みの電話帳はすべて「A」に設定されます。再契約時には以前の電話帳 2in1 設定を引き継ぎます。

〈モード別待受画面設定〉

- 画像選択後に表示されるメッセージは、待受画面設定と同様です。

◆2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話	発信	Aナンバー Bナンバー	発信時に選択 ^{*1}
	着信 ^{*2}	着信回避設定に従う	
電話帳	表示 ^{*3}	「A」「共通」	「B」「共通」 すべて
	名前変換 ^{*4}	「A」「共通」	「B」「共通」 すべて
	新規登録時	「A」	「B」 「A」
	赤外線／iC通信からの全件受信	送信側の電話帳2in1設定に従う ^{*5}	
	赤外線／iC通信からの1件受信	「A」	「B」 「A」
	microSDカードからの復元	コピー時の電話帳2in1設定に従う ^{*5}	
	microSDカードからの1件コピー	「A」	「B」 「A」
	FOMAカード電話帳へコピー	「共通」（電話帳2in1設定は設定されない）	
	FOMAカード電話帳からコピー	「A」	「B」 「A」
リダイヤル／着信履歴表示			
	Aナンバー発着信	Bナンバー発着信	すべての発着信
メール／SMS	表示	Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS	Bアドレス ^{*6} ／Bナンバーに受信したメール／SMS すべて
	送信	Aアドレス／Aナンバー	送信不可 Aアドレス／Aナンバー ^{*7}
	受信 ^{*8}	すべて	
	WEBメールサイト	利用不可	利用可能 利用可能
	赤外線通信／iC通信からの全件受信	送信側の状態を引き継ぐ	

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
赤外線通信／iC通信からの1件受信	Aアドレス／Aナンバー		
microSDカードからの復元	コピー時の状態を引き継ぐ		
microSDカードからの1件コピー	Aアドレス／Aナンバー	利用不可	Aアドレス／Aナンバー
FOMAカードへ移動／コピー（SMSのみ）	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
FOMAカードから移動／コピー（SMSのみ）	すべてAナンバーとして移動／コピー	利用不可	すべてAナンバーとして移動／コピー
iアプリ	利用可能	利用可能 ^{*9}	利用可能 ^{*10}
プロフィール情報表示	Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	すべて

^{*1} スケジュールのメンバーリストまたはセレクトメニューの人物から発信する場合も、発信時に選択できます。電話帳から発信する場合は、電話帳2in1設定で「A」または「共通」にした相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。クイックダイヤル発信とイヤホンスイッチ発信も同様です。
伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴から発信する場合は、発着信時のナンバーに従って発信されます。
ただし、発信オプションから発信する場合は、「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択できます。

^{*2} メモリ別着信拒否／許可、呼出動作開始時間設定、メモリ登録外着信拒否は、電話帳2in1設定に影響されません。

^{*3} シークレット属性設定時は、プライバシーモードの動作が優先されます。

^{*4} 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発着信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先などに電話帳の名前が表示されます。

^{*5} 送信側や全件コピー時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。

^{*6} WEBメールサイト上で端末に保存操作をしたメール、新着通知メール、アラーム通知メール

^{*7} 電話帳2in1設定で「B」にした相手にもAアドレスでメールを、AナンバーでSMSを送信しますのでご注意ください。
メール受信履歴のBアドレス／Bナンバーの履歴からは送信できません。

- ※8 Aモード時にBアドレス／Bナンバーへ、Bモード時にAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレーションも作しません。
- ※9 メール機能を利用する i アプリ、i アプリ待受画面は利用できません。
- ※10 i アプリ待受画面は利用できません。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。詳細はドコモの法人向けホームページ（<http://www.docomo.biz/d/212/>）をご確認ください。

1 【設定／NWサービス】 (8) (6) ▶ メニュー項目を選択して操作

【エリア表示設定】：(1) ▶ (1) または (2)

- ・「ON」にするとOFFICEEDエリア内では待受画面にが表示されます。

【圏外転送開始】：(2) ▶ 「はい」

【圏外転送停止】：(3) ▶ 「はい」

【圏外転送設定確認】：(4) ▶ 「はい」

追加サービス (USSD登録)

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 【設定／NWサービス】 (8) (9) (1) ▶ メニュー項目を選択して操作

【USSD登録】：(1) ▶ 番号にカーソル ▶  USSDコードを入力 ▶ 名称を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 

- ・USSDコードはドコモから通知されるサービスコードで、ネットワークサービスの設定などを行うために使用されます。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。
- ・追加したサービスを利用するときは、サービスを選択します。
- ・追加したサービスを削除するときは、サービスにカーソルを合わせてを押し、(1) または (2) を選択して「はい」を押します。

【応答メッセージ登録】：(2) ▶ 番号を選択 ▶ USSDコードを入力 ▶ 応答メッセージを入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 

- ・追加したサービスを実行時、サービスセンターから登録したコードが応答として返ってくるとこのメッセージが表示されます。
- ・登録したメッセージを削除するときは、メッセージにカーソルを合わせてを押し、(1) または (2) を選択して「はい」を押します。

